

清潔に関わる看護援助の充実に向けて

— 女性病棟における患者・看護婦の意識調査から —

9階西 ○加藤真紀子 細川 仲村 藤田 他16名

I はじめに

「清潔とは、人間が生活していく上で欠かせない基本的ニードである。1)」患者にとって、清潔を保つということが単に生理的機能の問題だけにとどまらず、苦痛を伴いやすい療養生活にあっては、快適さの基本的条件となっていることを見過してはならない。

そして、私達はあらゆる健康レベルに即し、個々の患者のニードにあわせた有効かつ適切な清潔援助を目指し、日々努力している。

そこで今回、患者自身が清潔援助をどう受け止め、「看護婦に何を期待しているのか」看護婦と患者の認識のズレを明らかにするためにアンケート調査をおこなったのでここに報告する。

II 方法

1. 研究期間：平成5年4月25日～12月22日
2. 方法：無記名によるアンケート法（別表1・2 参照）
3. 対象：1）当病棟看護婦19名
2）入院患者48名中自己記入出来る43名
4. 調査期間：平成5年11月10日～12月4日
5. 文献学習

III 入浴・清拭・洗髪についての現状

1. 入浴について：入浴時間、12時30分～20時まで、1人25分1日約18名、曜日については表1参照。

表1

病室	曜日
951～953、965～968	月・水・金・日
955～956、960～963	火・木・土・日

2. 清拭について：対象者は深夜の看護婦が清拭板に書き出す。方法については表2参照。

表2

対象	方法
自分で拭ける患者	蒸しタオル4～5本、陰部用ガーゼ2～3枚をビニール袋に入れ朝食後配布
介助の必要な患者	スキナリのお湯、タオル、蒸しタオルを使用し、看護婦が介助

3. 術後の清潔援助について：患者の自立、回復状態により取り決めている。詳細は、表3参照。清拭期間及び期間以後の清潔方法についても、自分でお風呂の順番をとって拭いたり、お湯を用意して拭くよう術前オリエンテーションの際に指導している。シャワー浴

については、許可になった日に方法・注意点等について指導している。

表3

術式	清拭	洗髪	シャワー
単純子宮全摘術 付属器切除術	4日間	6日目	創状態によるが術後9日目頃より
広汎子宮全摘術 拡大子宮全摘術	6日間	7日目	医師の許可
腹腔鏡下術	3日間	3日目より可	術後約7日目より
子宮鏡下術	2日間	2日目より可	術後約5日目より

4. 入浴できない人の洗髪について：週1回の割合で、対象患者の全身状態にあわせて計画し実施している。

IV 結果及び考察

回収率、入院患者43名(100%)。その内、20代2名、30代7名、40代11名、50代16名、60代6名、70代1名。看護婦19名(100%)。

紙屋²⁾は「健康な日常生活において、身体と衣服の清潔、それに整頓された清潔な環境は『快適さ』の重要な条件である。」と述べている。実際にどのような状態が清潔であると感じますか、という質問に対し、患者・看護婦ともに身体の清潔と環境面の2つの意見が出た。「明るい環境・寝具がきれい」という感じ方と、「汗の臭いがしない、入浴して気持ちよくなる、さっぱりした感じ」という意見にわかれた。このどちらかが保たれていれば清潔と感じ、清潔感を保てることで苦痛になりがちな入院生活に『快適さ』をもたらすと考える。

図1 入院前の入浴時間は何分でしたか。

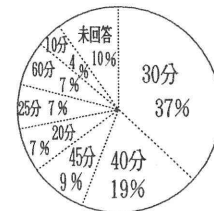


図2 入浴を隔日とし時間を1人25分と決めていますかその方法に満足していますか。

患者 はい 51% いいえ 47% 未回答 2%

看護婦 はい 42% いいえ 58%

いいた理由(複数回答)

- 患者・毎日入らなくても入浴時間を長くしてほしい(65%)
- ・消灯まで入浴時間を延ばしてほしい(55%)
- ・足だけでも毎日洗いたい(50%)
- 看護婦・毎日許可したい(40%)
- ・時間の延長(35%)
- ・足だけを洗う時間をつくりたい(5%)

次に、入浴時間についてであるが、図1の結果より病棟の入浴時間25分と比較すると、72%の人が26分以上入浴し、18%の人が25分以下であった。以上の事よ

り入浴時間25分では、ほとんどの患者が満足していないと考える。しかし図2の結果より満足している人は51%と半数を占めていた。一方満足していない人も47%と多く、「入浴時間を長くしてほしい」「足だけでも毎日洗いたい」という意見が多数を占めていた。入浴時間については、特に年齢差はなく個人の生活環境及び好みに左右され、さらに病院という集団の中での生活上、「仕方ない」と思っているのではないかと考える。また、看護婦も58%の人が不満と答え、「25分は短い」「毎日許可したい」「時間の延長をしたい」と考えている。しかし、実際入浴が許可されている患者に毎日許可することは、時間的に難しい。そのため足だけ洗う時間を作るなど、入浴方法、時間を検討し、改善する必要がある。

図3

①体を拭いた後さっぱりしましたか。

患者	とても	43%	まあまあ	31%	普通	17%	未回答	9%
----	-----	-----	------	-----	----	-----	-----	----

清拭によって爽快感が得られていると思いますか。

看護婦	はい	74%	いいえ	21%	どちらとも いえない	5%
-----	----	-----	-----	-----	---------------	----

②蒸しタオル4～5本渡す方法に満足していますか。

患者	はい	66%	いいえ	29%	未回答	5%
----	----	-----	-----	-----	-----	----

看護婦	はい	21%	いいえ	79%
-----	----	-----	-----	-----

いいえの理由(複数回答)

患者: 手足は洗いたい	80%
お湯とタオルを使いたい	60%
タオルの本数を増やして欲しい	40%

看護婦: 患者のニードを聞く 穏当な方法で	60%
スキナを使った方がいい	50%
石鹸を使った方がいい	40%

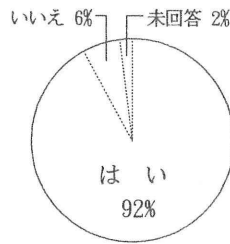
全身清拭について図3の①より患者の74%が「さっぱりした」と答え、看護婦も74%が爽快感を得られていると感じている。その方法については図3の②より66%の患者は満足しているが、看護婦の79%は満足していない。その理由として看護婦は、スキナや石鹸を使ったり、患者のニードと状態、身体の汚染度に合わせた方が満足感を得られるのではないかと考えている。

川島³⁾は「温かいお湯は皮膚の機能を十分に働けるようにするのでさっぱりした爽快感という心理的満足を与えることができる」と言われている。」と述べている。

又福沢⁴⁾は「背部や腹部、胸部は特に冷点の分布が多く冷感に敏感であり、温点は比較的深いところにあることから蒸すという方法はより効果的である。」と述べている。つまり、蒸しタオルとお湯、石鹸を組み合わせた清拭方法で、より爽快感が高まり効果的であると考えられる。実際、患者もお湯と蒸しタオルの併用を望んでいる。以上の事より、患者のニードと全身状態、身体の汚染度に対応した清拭方法、必要物品等について再検討し、統一していく必要がある。

次に、清拭を行う時間帯についてであるが、入院前に入浴時間帯については、患者全員が18時から23時に入浴している。その結果から私達は、寝る前に体を拭

図4 朝食後にタオルをお渡ししていますかその時間帯に満足されていますか。



きたいという人が多
いだろうと考えた。
しかし、図4より92%が午前中で満足していることが分かる。患者から「回診の前にタオルが欲しい」「診察の前に入浴したい」という声も時に聞かれる。このことから身体を清潔にするということは、

生殖器疾患を持つ女性という点からみても、私達の考える以上に大事な意味があるように思われる。以上の事から、朝食後にタオルを配るという現在の方法は今後も続けていこうと考えている。

図5 手術後体を拭く時看護婦はお手伝いしましたか。



次に手術後患者の保清について図5の結果より患者は4日目までが26%、1日目のみが23%と介助日数差がみられた。実際看護婦は、術式によって介助日数をかえているためこのような結果が出たと考える。しかし、1日目のみと答えた患者の中には、「大変だったので3日目まで手伝ってほしい」との声もあった。看護婦は健康回復と自立に向けて援助をしても、患者は痛くてつらかったわけである。このことから、現状の認識にズレがあり、看護婦は患者の全身状態を判断し健康レベルにあわせ、ニードにあった清潔援助を行っていく必要がある。

図6 手術後、タオルが渡されなくなってから、シャワー許可になるまでの間どうすればいいか、看護婦から説明はありましたか。

患者	はい 42%	いいえ 42%	未回答 16%
----	--------	---------	---------

タオルを配らなくなってからシャワー許可になるまでの保清方法についていつ指導していますか。

看護婦	折りにふれて 37%	聞かれた時 32%	手術前オリエンテーションの時だけ 5%	タオルを配る最終日 26%
-----	------------	-----------	---------------------	---------------

図7 シャワーに入れるようになった時、その方法について看護婦から説明はありましたか。

患者	はい 45%	いいえ 32%	未回答 23%
----	--------	---------	---------

手術後シャワー許可になった患者にシャワー浴の指導をしていますか。

看護婦	はい 100%
-----	---------

図6より42%の患者が説明を受けてないと答えているが、看護婦は手術前オリエンテーション時や日々の看護ケアの中で指導していると答えている。図7より32%の患者が説明がなかったと答えているのに対し、看護婦全員が指導していると答えている。以上の結果より、上記の時間・指導・方法・内容について、再検討して徹底していく必要がある。

図8

①手術後初めてのシャンプーは何日目になりましたか。

患者	5~6日 35%	7~8日 16%	3~4日 13%	10日~ 10%	未回答 26%
----	----------	----------	----------	----------	---------

②実際何日目にシャンプーしたいと思いますか。

患者	4~5日 37%	2~3日 17%	6~7日 10%	8日~ 10%	未回答 26%
----	----------	----------	----------	---------	---------

③術後7日目に初めての洗髪をしていますか、その方法に満足していますか。

看護婦	はい 37%	いいえ 63%
-----	--------	---------

いいえの理由：術後7日目でも希望なら前にしてもいい 64%
もっと早く洗ってもいいと思うので改善した方がいい 29%

図9

①シャワーに入れない時、看護婦はどの位の間隔でシャンプーしていましたか。

患者	4~5日 17%	6~7日 17%	洗ってくれなかった 14%	5~6日 11%	2~3日 9%	その他 15%	未回答 17%
----	----------	----------	---------------	----------	---------	---------	---------

②どの位の間隔で洗いたいですか。

患者	1~2日おき 37%	3~4日 20%	9日以上 9%	毎日 6%	未回答 17%
----	------------	----------	---------	-------	---------

③入浴できない人の洗髪は何日おきくらいに必要だと思いますか。

看護婦	4~5日おき 59%	2~3日おき 32%	6~7日おき 11%	3日おき 3%
-----	------------	------------	------------	---------

術後の洗髪について図8の②より37%が、4~5日で洗髪することを希望しており、「髪がベタベタで気分が悪い」という声もある。又看護婦も、図8の③で示すように63%が不満に思っている。

入浴できない患者の洗髪について図9の③より、看護婦は4~5日おきに介助を必要と感じているが、実際は図9の①のような結果になった。患者の全身状態によって洗髪が困難な場合もあるが、患者のニードは図9の②のように高く、以上のことから、洗髪の時期、方法についても、患者のニードと全身状態、髪の汚染度に対応していく必要がある。

V おわりに

今回、患者、看護婦の清潔援助に関する認識のズレに着眼し研究をすすめた。清潔に関する受けとめ方や看護婦に期待するものは、個々の患者によって差があるものの、入浴や清拭方法及び時間については、看護婦が考えている程、患者は不満と考えておらず、認識のズレも大きくはなかった。しかし、清潔援助に関する指導については、認識のズレが大きかった。このことから、個々の患者にあった指導が十分にされていれば清潔に関する満足度は高くなると考える。さらに今回のアンケートの結果から出た患者の希望を取り入れ、清潔に関する看護援助の改善を重ね、快適な療養生活を保障できるよう努力していきたい。

最後に、アンケートに協力して下さった患者さんに深く感謝いたします。

引用文献

- 1) 吉田時子他「看護学総論2」金原出版 P377~378
- 2) 紙屋克子 「入院患者にとって清潔とは何か」看護実践の科学-1987, 5月 P8~21
- 3) 川島みどり「看護技術の安楽性」メジカルフレンド社 1974
- 4) 福沢睦子他「清拭における爽快感と清潔度に関する一考察」看護総合 No.15 1984 P9~13
以下、参考文献省略

別表1 (患者用)

I あなたにとって、どのような状態が清潔だと思いますか。

II-1 入院前の入浴習慣について。
2 入院中に入浴について。

III-1 現在、9西では主に4~5本蒸しタオルをお渡ししていますが、その方法について満足していますか。
2 シャワーに入れない時、看護婦はタオルをお配りしましたか。
3 体を拭いてさっぱりしましたか。
4 蒸しタオルの温度はどうでしたか。
5 朝食後、タオルをお配りをしていますが、この時間帯に満足されていますか。
6 体を拭くとき、あなたのプライバシーは保たれていますか。
7 一人で拭けず、看護婦に手伝ってもらってどうでしたか。
8 シャワーに入れない時、看護婦は何日位の間隔でシャンプーしていましたか。
9 誰にシャンプーしてもらうことが多いですか。

IV-1 術後、4日目までタオルをお配りしていますがその方法について満足されていますか。
2 タオルが配られなくなってからシャワーが許可されるまでの間、どうすればいいか看護婦からアドバイスはありましたか。実際どのようにしていましたか。
3 術後、体を拭く時看護婦は何日目までお手伝いしましたか。その日数に満足されていますか。
4 シャワーに入れるようになった時、その方法について看護婦から説明はありましたか。
5 術後、初めてのシャンプーは、何日目でしたか。何日目にしたいと思いましたか。誰にしてもらいましたか。

別表2 (看護婦用)

I あなたにとってどのような状態が清潔であると感じますか。

II-1 現在、9西では入浴日を隔日とし、入浴時間を25分と決めています。満足していますか。また、患者より要望を聞いたことがあればお書き下さい。
2 入浴日以外及び時間外の入浴を許可したことがありますか。またどのような人ですか。時間外の入浴についての説明指導をどうしています。

III-1 蒸しタオルを4~5本配っていますが、満足していますか。患者さんから方法に対して不満を聞いたことがあればお書き下さい。
2 深夜で当日の清拭、洗髪をあげていますが、清拭等必要な人を十分に把握できていますか。又、実際何日おき位にあげていますか。良い方法があればお書き下さい。
3 清拭によって患者さんは満足感を得られていると思いますか。またそれはどういうところからですか、お書き下さい。
4 全面介助で清拭をする患者さんに対し、現在は毎日清拭を行っています。どう思いますか。
5 入浴できない患者の洗髪は何日おきくらいに必要だと思いますか。

IV 1 タオルを配る日数を決めています。その方法について満足していますか。患者さんから要望を聞いた方はお書き下さい。
2 タオルを配らなくなってからシャワー許可までの保清方法についていつ指導していますか。またどのように説明していますか。
3 良性の開腹手術の患者さんに対し、手術後、何日目まで介助していますか。またどこを介助していますか。
4 術後、シャワー可になった患者さんにシャワー浴の指導をしていますか。どのように指導しているか具体的にお書き下さい。
5 術後、7日目に洗髪をしています。その方法に満足していますか。また、誰に依頼しますか。